

事業実施方針 < 鳴子ダム >

プロジェクト タイトル	インフラツーリズムが東北の復興を応援 【鳴子ダム魅力倍増・通年化プロジェクト】
プロジェクト 概要	流域連携モデルの確立 ①歴史的インフラの四季折々の美しさの見せ方を検討する。 ②周辺の温泉、名勝、遺産を結ぶストーリーを検討する。 ③復興庁「新しい東北」事業等、東北観光推進との連携を図る。
事業の柱	①鳴子ダム見学プログラムの深度化(季節ごとのプログラムを設定) ②鳴子ダム(選奨土木遺産)と大崎耕土(世界農業遺産)との連携、温泉や食との連携 ③ファミツアーの実施
プロジェクト 目標	①鳴子温泉郷等鳴子ダム周辺地域における宿泊者数の増加 ②季節ごとの見学プログラム企画による鳴子ダム観光の通年化

①鳴子ダムのインフラツーリズムの深度化

概要	ダムを取り巻く四季折々の美しさを発掘し、通年で鳴子ダム見学を実施し、「すだれ放流」時以外の見学者誘致と満足度向上を目指す。	
実施項目	・情報発信資料の作成 ・ボランティアガイドの育成	
ツアー設定 案	見学プログラムの通年化	
	①すだれ放流の通年化実施	5月に実施してきたすだれ放流を通年の観光資源として活用する方策(実施の可否、回数等)を検討。
	②夏・秋・冬に実施する魅力的な見学プログラムの設定	ダム本体の見学プログラムと立地する周辺の自然環境(紅葉・雪など)を組み合わせ、季節ならではの見学プログラムを検討。
	③鳴子ダムの歴史的な意義を知るプログラムの設定	選奨土木遺産に認定されている理由や技術的な特徴を、一般にもわかりやすく・面白く発信する知的好奇心を刺激するツアーを検討。
	周辺地域の観光資源との連携	
	①鳴子温泉郷の宿泊プランと鳴子ダム見学をパッケージした特別プログラム	自治体観光部署や温泉協会と連携し、ダム見学を目的とした宿泊プランを造成。普段立ち入れない施設の案内や夜間・早朝の特別公開等プレミアム企画を想定。
	②ライトアップと組み合わせたイベントの実施	ライトアップと組み合わせたナイトタイム観光の検討。音楽演奏や伝統芸能との連携を検討。
	③鳴子発電所の見学と組み合わせたダムの利水見学ツアー	東北電力鳴子発電所との連携による、新たなプログラムの検討。
④北上川水系上流のダムから河口(石巻)をつなぐプログラム	上流のダム・温泉、中流の大崎耕土の農業(米・日本酒)、河口の石巻の海産物を組み合わせた周遊プランを検討。	

②周辺(大崎耕土)地区の観光資源との連携

課題	宿泊ツアー化 和食・日本酒等の魅力発信 施設等受入環境 ガイド確保
連携方針	鳴子ダムを核として大崎耕土1市4町と連携 鳴子温泉郷や世界農業遺産等、観光資源ごとにタイトルと具体的なプログラムを設定して連携を推進。
連携イメージ	

③ファムツアーの実施

日程	11月25日～26日の1泊2日にて実施予定。
ファムツアー 招請者	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けの旅行会社、メディア関係者 ・国籍等は地方の要望に合わせる ・5名程度 ・英語ガイド随行
ルート方針	<ul style="list-style-type: none"> ・東京発着(東北新幹線利用) ・既に集客のある観光ルート(松島、蔵王)からの誘客を検討。 + 半日程度の鳴子ダム周辺観光ツアー
ルート素材 検討案	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子ダム見学内容(内部、外観)、および鳴子発電所の見学を併せて検討。 ・東北(宮城県)の魅力(温泉・食・日本酒)を組み合わせて、東北(宮城県)の魅力をアピールする。

事業実施方針 < 天ヶ瀬ダム >

プロジェクト タイトル	「もうひとつの京都」情報拡大 【天ヶ瀬ダムをコアにした「お茶の京都」魅力発信プロジェクト】
プロジェクト 概要	広域連携モデルの確立 ①同水系支流ダム等、インフラの連携を検討 ②有名観光地からの外国人観光客の誘致検討
事業の柱	①天ヶ瀬ダムインフラツーリズムの多角化(隣接ダムとの連携) ②周辺(京都府南部と隣接地域)地区の世界遺産等観光資源との広域連携 ③ファムツアーの実施
プロジェクト 目標	①京都市内から宇治市に呼び込む観光客数の増加 ②宇治市内における観光客の滞在時間増加、および宿泊者数の増加

①天ヶ瀬ダムのインフラツーリズムの多角化

概要	既存の見学会を質量ともに拡充し、高山ダム等同水系支流ダムや平等院等宇治市内の世界遺産や観光資源との連携により、天ヶ瀬ダム見学者の増加と域内滞在時間の延長を目指す。	
実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・定期のシャトルバスの運行 ・民間によるショップ等の運営 	
ツアー設定 案	インフラ施設	
	①天ヶ瀬ダム見学ツアーの魅力向上	キャットウォークからの見学と他のダムで集客の目玉となっている観光放流を組み合わせ、一般にもわかりやすい見学プログラムの定例化を検討。
	②同水系支流ダム見学と組み合わせたダム満喫ツアー	高山ダム、比奈地ダム等と組み合わせて、ダムの形式・立地条件・役割の違いについて楽しく学ぶ、ダム好き満足ツアーを検討。
	③天ヶ瀬発電所・宇治発電所の見学と組み合わせたダムの利水見学ツアー	通常見学を受け入れていない関西電力の発電所との連携による、新たな産業観光プログラムの検討。
	周辺地域の観光資源との連携	
	①宇治市内および地域内宿泊プランと天ヶ瀬ダム見学をパッケージした特別プログラム	お茶の京都DMOを主体に自治体観光部署と連携し、ダム見学を目的とした宿泊プランを造成。普段立ち入れない施設の案内や夜間ライトアップ等プレミアム企画を想定。
	②地域の観光資源(世界遺産・日本遺産)と連携した「もう一つの京都」ツアー検討。	南山城地域の世界遺産(平等院・宇治上神社)、日本遺産(茶畑の景観、日本茶体験)等の観光資源と天ヶ瀬ダムを結ぶガイドツアーの設定と国内外への情報発信を検討。
③宇治川を活用したEポート(大型カヌー)の特別運行	現在民間組織にて実施されているEポートを利用した川下りとダム見学ツアーの、さらなる充実を検討。	

②周辺(京都府南部)地区の観光資源との連携

課題	<p>周辺ダムとの連携(高山ダム、比奈地ダム等) 宿泊ツアー化(京都市内等大都市から宿泊客の誘引) 京都観光資源との競合(どのように魅力を発信し、差別化を図るか) インフラと地域の歴史・文化をつなぐストーリー(世界遺産や源氏物語とどう結びつけるか) 施設等受入環境の整備(多言語対応、安全確保)、ガイド確保(採用・養成・雇用)</p>
連携方針	<p>天ヶ瀬ダムはじめ木津川水系ダムを軸として京都府南部12市町村、およびその周辺地域と広域連携。平等院等の寺社(世界遺産)、茶畑の景観や日本茶体験(日本遺産)、甲賀・伊賀の忍者等、観光資源の連携により魅力的なプログラムを造成し、京都市内からの旅行者誘引を図る。</p>
連携イメージ	

③ファムツアーの実施

日程	<p>11月28日～29日の1泊2日にて実施予定。</p>
ファムツアー招請者	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けの旅行会社、メディア関係者 ・国籍等は地方の要望に合わせる ・5名程度 ・英語ガイド随行
ルート方針	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪・京都発着(専用車利用) ・既に集客のある観光ルート(京都市内・伏見稻荷)からの誘客を検討。 + 半日程度の天ヶ瀬ダム周辺観光ツアー
ルート素材検討案	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にて一推しの素材(源氏物語ミュージアム、宇治上神社、平等院、対鳳庵)を市内観光に設定 ・広域連携として比奈地ダムと忍者(伊賀市)に関して検討。

事業実施方針 < 来島海峡大橋 >

プロジェクト タイトル	瀬戸内を観光のトップランナーへ 【しまなみ海道魅力拡大プロジェクト】
プロジェクト 概要	長大橋見学モデルの確立 ①橋そのものの見せ方・体験プログラムの検討 ②橋と周辺地域(島々)の地理、歴史を結ぶストーリーの検討 ③瀬戸大橋・明石海峡大橋を含む広域連携の検討
事業の柱	①来島海峡大橋のインフラツーリズム(各種プログラム)の策定 ②周辺(しまなみ海道沿線)地区を含む瀬戸内エリアの観光資源との連携 ③ファムツアーの実施
プロジェクト 目標	①塔頂エレベーターのキャパシティに見合った、少数限定、高単価な見学ツアーの設定 ②しまなみ海道を四国への誘客の柱とし、地域の観光活性化とインフラをつなぐストーリーを設定

①来島海峡大橋のインフラツーリズムの深度化

概要	塔頂体験、日本最大級の橋梁技術の見学を通じて、来島海峡大橋見学プログラムの周知・魅力アップにより、しまなみ海道通過者を施設見学に呼びこみ、滞在時間の延長を目指す。	
実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信資料の作成 ・少数限定のツアー・イベントの実施 ・ボランティアガイドとの連携、有料ガイドへの移行 	
ツアー設定 案	塔頂体験の商品化	
	①個人で随時予約できる定時出発ツアー (基本プラン)	1日3回(10:00～、13:00～、15:00～)のツアーを設定、1回15名(5名×3交代)定員で設定。 自転車や定期船・バス等個人で利用できるアクセスに合わせて設定。
	②日時を限定した少人数・高付加価値ツアー	日の出、日没、海面の霧等、特別な景観を塔頂から堪能するツアーを企画。人数を限定、ハイグレードな飲食等とセットして高価格・高付加価値を目指す。
	③フォトウェディングなど貸切塔頂プラン	1組限定貸切にて、塔頂でのフォトウェディング、プロポーズ等の「個人のイベント」応援プランを企画。 インバウンドへの対応も検討。
	周辺地域の観光資源との連携	
	①村上海賊(日本遺産)構成遺産と連携したツアー	しまなみ海道沿線の村上海賊関連スポット周遊と、塔頂から海賊の根拠地等を俯瞰。歴史講師や武将隊によるガイド、VRの活用を検討。
	②しまなみ海道サイクリスト向けスタンプラリー	しまなみ海道沿線および四国島内のスポットと塔頂体験を同時体験した旅行者に特典を提供。自転車による広域周遊を促進。
	③橋を立体的に眺めるツアー	観潮船で海上から見上げる橋や亀老山山頂からの遠望等、橋を外から立体的に眺める。渦潮・日没、夜景など「映える」時間帯に設定。
④富裕層向け特別プラン	瀬戸内海のクルーズ船「ガンツウ」と連携、船上からの見学に解説者を派遣。乗船者限定の特別塔頂(日の出鑑賞の後、船上で橋を見上げながらシャンパンブレイクファスト等)の検討。	

②周辺(しまなみ海道沿線)地区の観光資源との連携

課題	<p>明石海峡大橋、瀬戸大橋との差別化と連携(3ルート個別にテーマ設定、特徴的なプログラム) 施設等受入環境の整備(見学ルートの整備、安全確保、解説資料の整備・多言語化) 現地におけるガイドの確保(初手はボランティアガイドと連携、募集、養成、民間による組織化・有料化) 受入体制の確立(DMO,しまなみジャパン等) 橋台のある馬島における滞在プログラムの検討</p>
連携方針	<p>来島海峡大橋を核として今治市・尾道市およびしまなみジャパン(DMO)等と連携。 「村上海賊(日本遺産)」、「サイクリング」を主な地域の観光資源とするとともに、瀬戸内エリア広域の観光素材として「富裕層(ガンツウ)」、「アート」、「瀬戸内海国立公園」と連携した取り組みを推進。</p>
連携イメージ	

③ファムツアーの実施

日程	<p>11月21日～22日の1泊2日にて実施。</p>
ファムツアー招請者	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けの旅行会社、メディア関係者 ・国籍等は地方の要望に合わせる ・5名程度 ・英語ガイド随行
ルート方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新大阪発着(山陽新幹線利用) ・既に知名度の高いしまなみ海道沿いの新旧の観光素材からの誘客を検討。 + 半日程度の来島海峡大橋および馬島観光ツアー
ルート素材検討案	<ul style="list-style-type: none"> ・塔頂体験をメインに設定、馬島へのアクセスルートは複数パターンを体験 ・四国八十八景プロジェクト「来島海峡急流観潮船」「亀老山展望公園」を組み合わせ橋を立体的に眺める

事業実施方針 <鶴田ダム>

プロジェクト タイトル	新しい日本の観光提言 【さつま観光未来プロジェクト】 -鶴田ダムのインフラツーリズムによる新しい鹿児島観光の活性化-
プロジェクト 概要	日本の地域観光における大きな課題は、新たな国際観光に対応できる素材が不足していることである。本プロジェクトは、政府が取り組む観光素材としての大胆なインフラの開放に即して、九州地整管内の鶴田ダムを核とした新たなインフラツーリズムの可能性を、沿川3市2町の観光資源を地域とともに磨き上げながら、薩摩地方の観光交流活性化を促進し、提案するものである。
事業の柱	①鶴田ダムのインフラツーリズムの深度化 ②周辺(沿川)地区の観光資源との連携 ③ファムツアーの実施
プロジェクト 目標	①地域における新たな観光資源として、鶴田ダムを日本一のインフラツーリズムの拠点とする ②沿川3市2町の観光資源の磨き上げを支援し、鶴田ダムと観光資源との連携を模索する ③インバウンド対応の遅れている薩摩地方において、本プロジェクトにより、外国人目線で観光資源を評価し、地域にフィードバックすることで鶴田ダムと地域観光資源をインバウンド誘客の視点から深化させる

①鶴田ダムのインフラツーリズムの深度化

概要	鶴田ダム活性化大作戦 現状の見学会のさらなるブラッシュアップを図り、鶴田ダム見学者の感動度倍増を目指す	
実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライズ企画の検討 ・目的別ツアー内容の設定 ・ダムコンシェルジュのガイド教本の整理、作成 	
ツアー設定 案	団体	
	①小中学生に向けた教育旅行(社会科見学、修学旅行等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが自然災害や治水に興味を持ち、インフラの大切さを認識する新たなプログラム。 ・災害時における家族や自身の取るべき避難行動についても鶴田ダムをフィールドに集中した防災学習を実践。 ・座学とダム体験から防災を学ぶ。 ・時間によってはペーパークラフト作成や鶴田ダム模型の体験 ・ダムレンジャーによる操作室やゲート室での説明。
	②高齢者・障がい者に向けたバリアフリー見学ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・急で長い階段の昇降等、従前のツアー内容を見直し高齢者や障がい者にとって新しいインフラ観光、やさしいダム観光を提案。 ・手すりや昇降の緩和のためのハード面の整備(将来)
	③旅行会社とタイアップした鶴田ダムインフラツアーの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社と連携するとともに、企画するツアー受け入れ体制の早期化、充実化。 ・防災を軸にした体験型ツアー。
	④ダムの建設、治水技術を学ぶテクニカルビジット(技術視察)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の土木技術者に向けた、ダム再開発技術や治水技術等を近隣事務所とも連携しわかりやすく発信する専門性の高いツアーの企画。
	⑤ダムマニア満足ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムマニアの要望に応える満足度の高いツアーの企画。
	⑥焼酎貯蔵記念体験	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の焼酎蔵元と連携し記念日まで鶴田ダム監査廊に焼酎を貯蔵する企画。
	個人	
①近隣温泉施設(宮之城温泉、紫尾温泉等)の宿泊プランと鶴田ダム見学をパッケージした特別プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の観光部署や温泉協会と連携し、ダム見学を目的とした宿泊プランを造成。 ・普段は立ち入れない施設へ案内するなどのプレミアム企画。 	

②1名からでも受け入れ可能な満足度の高い個人客受け入れツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム見学者が利用しやすいように、60分コース、90分コースを設定したツアー企画。 ・ゆうゆう館での昼食をセット。
③鶴田ダム大鶴湖遊覧船の期間限定特別運行	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムから旧曾木発電所遺構まで船を利用することによりダム見学と発電所遺構を一体の企画として実施。 ・NPOが所有する船を利用した遊覧ツアーの検討。 ・接岸施設整備等により運航の拡大を検討。
④観光(点検)放流の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて11月に地域のイベントとも連携し点検放流を実施。 ・毎年11月を目途に鶴田ダムを通じた地域の風物詩として根付かせる鶴田ダムフェア(仮)を実施していく予定。
⑤水力発電施設の見学と組み合わせたダムの利水見学ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・Jパワー発電所とダム管理所の連携による、新たな見学ツアー。 ・Jパワー非売品グッズの提供などプレミアム企画。

②周辺(沿川)の観光資源との連携

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドへのPR不足 ・旅館や観光施設がインバウンドに対応していない ・ガイドによる説明が難しすぎる→観光用のストーリー、教育との連携(こどもガイド)の検討 ・甲冑体験の演出、歴史と遊びを併せたイベント性等、楽しいプログラムの検討 ・NPOの既存メニューとどう繋げるか検討、提言 ・自治体が売りたいものを明確にする(例:本当に「竹」をアピールしたいのか。アピールしたいなら、竹林を見せたり、かぐや姫と結びつけたり、たけのこ料理を提供したり、工夫が必要)、どうやって売っていきたいのかを確認、指摘、提言
連携方針	鶴田ダムを核として沿川3市2町と連携。(かわまちづくり観光振興部会で議論された内容の具体化)各市町ごとにタイトルと具体的なプログラムを設定して連携を推進。
連携イメージ	<p>※先行して推進可能な市町から具体化を進め、後続する市町への波及を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 霧島を仰ぐアウトドアのまち <ul style="list-style-type: none"> ・カヌー、SUP ・ロングトレイル 本物のサムライに会えるまち <ul style="list-style-type: none"> ・サムライツーリズム ・きんぱく(体験プラン) ホテルと温泉のさと <ul style="list-style-type: none"> ・鶴田ダム点検放流 ・ホテル舟 アートと名水のまち <ul style="list-style-type: none"> ・焼酎造り体験 ・3色温泉 薬草とアウトドアで健康になるまち <ul style="list-style-type: none"> ・古民家レストランで薬草料理 ・曾木発電所遺構観光船

③ファミツアーの実施

日程	11月10日(日)の点検放流、マルシェ開催に合わせた1泊2日(11月9日(土)～11月10日(日)) ※点検放流は10:30～、14:00～の2回、各30分の予定
ファミツアー招請者	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド向けの旅行会社、メディア関係者 ・国籍等は地方の要望に合わせる(欧米豪を予定) ・5名程度 ・英語ガイド随行
ルート方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡発着 ・既に集客のある観光ルート(桜島、霧島)からの誘客 ・+半日程度の鶴田ダム沿川ツアー(曾木の滝、武家屋敷、薩摩切子、等)
ルート素材検討案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育と観光(武家文化)を結びつける(例:甲冑体験時に地元の子供たちと行列をつくって歩く) ・武家屋敷の広場で剣舞を見せる ・薩摩切子と江戸切子の違い、現在までどのような経緯があつて地元につながっているのか説明、体験 ・曾木の滝をドローンから撮影